

上高野だより

平成27年3月特別号（学校評価）



ホームページ 検索→「上高野小学校」

京都市立上高野小学校 校長 前谷 康孝

URL <http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/kamitakano-s/>

TEL (075) 701-3995 FAX (075) 711-1990

保護者の皆さまには、後期学校評価にご協力いただきありがとうございました。『保護者による学校評価』、『児童による学校生活のアンケート』、『教職員の自己評価』の集計結果がまとまりましたので、皆様にお知らせいたします。『保護者による学校評価』では、昨年度と同様に、質問項目に対して「重要度」「実現度」の二つでお答えいただき、『児童による学校生活のアンケート』では、規範意識や日常生活に関する質問項目に重点を置きました。また、『教職員の自己評価』では、日常の学校生活や家庭との連携、学校運営への参画等について実現度を自己評価しました。

今回305名の回答をいただくとともに、文章でのご意見もいただきました。皆様からいただきましたご意見については、真摯に受け止め、本校の教育活動に生かしていきたいと考えます。今回実施しました3つのアンケートの集計結果とそこから見えてくる課題について、過日行われました学校運営協議会理事会で討議していただきました。

今回、理事会で出されましたご意見や上高野小学校の今後の課題を保護者の皆様にお知らせするとともに、課題解決に向けて学校・保護者・地域の方々が連携を図り、協力して上高野小学校教育のさらなる充実を目指していきたいと思っております。

なお、『保護者による学校評価』と『児童による学校生活のアンケート』『教職員の自己評価』の集計結果は裏面に掲載いたしましたのでご覧ください。また、「重要度」と「実現度」の相関関係の図表や図表の見方を別紙に掲載しましたので、そちらの方もご覧ください。

理事会での討議内容

【学校からの分析と説明】

- 「学校は楽しいですか」という児童に対する質問については、97%の児童が肯定的な回答をしており、「授業はよくわかりますか」という質問の結果も、95%と肯定的な回答をしている児童が多く、保護者、教職員の回答と合わせて考察すると、児童は楽しく学校生活を過ごし、学習もおおむね満足できる状況にあると考えられる。しかし、7月のアンケート結果から課題とした「授業中はよく発表しますか」という質問の結果は、肯定的な回答が69%と若干の改善はみられたものの、引き続き改善のための取組が必要である。そのため、児童が意欲的に学習し、思いや考えを友だちと伝え合いたいと思うような授業づくりと、友だちの意見を温かく受け止める学級づくりに引き続き取り組んでいく。
- 規範意識や日常生活に関する質問項目から、本校の児童は、ルールを守り、友だちと仲よくすることの大切さについて理解していることが分かる。しかし、「子どもは人の嫌がることを言ったりしたりしていませんか」という保護者アンケートの質問について「できていない・あまりできていない」の回答が13%、教職員の自己評価「学級の子は、学校や学級の約束を守れている」の「あまりそう思わない・そう思わない」の回答が17%ということから、規範意識を実践的態度につなげていくことに課題がある。優しい言葉かけや、よりよい生活をしていこうとする児童の言動を認め賞賛することで実践意欲を高めていくとともに、ともに高めあおうとする学級の雰囲気づくりに努める。
- 「自分から進んで挨拶ができていますか」とについては、児童の93%が肯定的な回答をしているが、保護者は66%、教職員は77%が肯定的な回答で、大人から見ると、もう少ししっかりと挨拶ができるようになってほしいという思いが感じられる。朝の気持ちのよい挨拶のためには、起床時刻や朝ご飯など、登校前の生活も関係してくるので、挨拶の大切さについて繰り返し指導するとともに、ご家庭でのご協力をお願いしたい。

【理事の方々からのご意見（要約）】

- 水泳学習について、安全確保のため、いろいろな制約のある中で学習が進められていることは分かるが、子どもが「楽しかった。次の時間が楽しみだ。たくさん泳げてよかった」など、充足感を得られるような水泳学習になるよう、工夫をお願いしたい。
- 挨拶については、大人から積極的に子どもへ「おはよう」と声かけをしていきたい。修学院中学校で気持ちのよい挨拶が実践できていることは、小学校の時から挨拶について継続して働きかけてきた結果だと思う。今は声が小さくても声をかけ続けることで変わってくると思う。
- 道徳の「教科化」について報道されているが、具体的な方向が決まれば学校運営協議会でも知らせてもらい、意見が出せたらいいと思う。

保護者・地域の皆様のおかれましては、日頃から本校の教育活動にご理解・ご協力いただきありがとうございます。また、今年度も学校評価にご協力いただきましたことを心より感謝申し上げます。

平成26年度後期の学校評価の中では、皆様よりいつもに増して貴重なご意見をいただきました。特に規範意識にかかわる項目では自由記述欄とも併せて、様々なご意見・ご提案をいただきました。現代社会の中では様々な価値観が存在し、それぞれの価値観がぶつかり合うことも多々あるように感じますが、学校教育の中で育むべきものは社会での最大公約数的ルールと考えています。相手に対する配慮・自己主張だけでない話し合いの仕方等々、また、あいさつなどもそのひとつかと思っております。これらのルールを学ぶ中で子ども達は、「やってはいけないこと」「やった方がいいこと」等を考え、実践していく力を付けていくことを目標としています。そして、今後は教科化される予定の道徳の中では“より良い自分”を目指す生き方を考えていければ、とも考えます。様々な価値観を理解し、協働・共生していく力を持った子ども達を育てていくことを今後とも大切にしていきたいと考えています。そのためにも、保護者・地域の皆さんから「話しかけやすい教職員」であり、様々な問題に対して共に考え・実践していける姿勢を大切にしていきたいと思っております。

また、学校運営協議会でもご意見をいただきました“プール運営と安全確保”の問題についても、子ども達が「安心して楽しめる」方策と体制に向けて、京都市立小学校全体で工夫を重ねているところです。詳細に関しては、プール学習が始まるまでにお知らせできると思っております。どうぞご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

上高野小学校 学校長 前谷 康孝

平成26年12月 学校評価(保護者)の集計結果 (%)

上段H26.12 下段H26.7

		重 要 度					実 現 度					
		重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	合計	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない	わからない	合計
1	学校教育目標にそった取組が進んでいると思われますか。	51	47	2	0	100	19	69	3	1	8	100
		51	46	3	0	100	23	65	3	1	8	100
2	子どもは、楽しそうに学校に行っていますか。	94	6	0	0	100	53	43	3	1	0	100
		93	7	0	0	100	50	44	4	2	0	100
3	学校は、一人一人の子どもを大切に授業を行っていると思われますか。	65	34	1	0	100	22	60	8	2	8	100
		64	35	1	0	100	21	61	7	1	10	100
4	子どもは、進んで学習に取り組んでいると思われますか。	71	28	1	0	100	14	57	26	2	1	100
		68	32	0	0	100	16	57	22	4	1	100
5	子どもは、学習に必要な物を忘れないようにしていますか。	78	22	0	0	100	19	51	23	5	2	100
		76	24	0	0	100	19	58	17	4	2	100
6	家庭で子どもに学習や読書の習慣をつけていますか。	66	32	2	0	100	15	44	35	6	0	100
		66	33	1	0	100	13	46	35	6	0	100
7	子どもは学校や学級のきまりを守っていると思われますか。	73	27	0	0	100	25	66	4	1	4	100
		75	25	0	0	100	25	63	5	1	6	100
8	子どもは自分から進んであいさつをしていますか。	83	17	0	0	100	18	48	26	3	5	100
		80	19	1	0	100	16	52	27	3	2	100
9	子どもは、人の嫌がることを言ったり、したりしていませんか。	86	13	1	0	100	21	58	11	2	8	100
		86	14	0	0	100	21	55	14	1	9	100
10	子どもは、困ったことがあれば、担任に相談していますか。	63	36	1	0	100	12	52	21	5	10	100
		63	37	0	0	100	13	48	22	4	13	100
11	子どもは、学校であったことを家で話していますか。	67	31	2	0	100	25	52	21	1	1	100
		66	34	0	0	100	25	51	19	4	1	100
12	子どもは、家庭で規則正しい生活をしていますか。	73	26	1	0	100	18	56	24	2	0	100
		70	30	0	0	100	24	52	21	2	1	100
13	子どもの安全への取組(名札着用や登下校の見守りなど)にご協力いただいていますか。	67	32	1	0	100	17	54	24	4	1	100
		67	32	1	0	100	18	57	20	5	0	100
14	話しやすい教職員ですか。	66	33	1	0	100	38	57	2	2	1	100
		70	30	0	0	100	45	50	4	0	1	100

* 回答数305名(全体の約94%の回答率)

(統計処理上、1名の回答は「0%」になる場合や、合計が100%にならない場合があります。)

平成26年12月 学校評価(児童)の集計結果 (%) 上段H26.12 下段H26.7

		A よく出来ている	B 大体出来ている	C あまり出来ていない	D 出来ていない	合計
1	学校は楽しいですか。	73	24	2	1	100
		68	27	4	1	100
2	授業はよく分かりますか。	59	36	4	1	100
		60	34	5	1	100
3	授業中はよく発表しますか。	32	37	24	7	100
		37	30	28	5	100
4	授業中は人の話をしっかりと聞いていますか。	59	34	5	2	100
		58	36	5	1	100
5	学習に必要なものを忘れないようにしていますか。	48	38	13	1	100
		46	42	10	2	100
6	家で宿題や勉強をきちんとしていますか。	71	22	5	2	100
		75	19	5	1	99
7	学校や学級のきまりをしっかりと守っていますか。	72	22	4	2	100
		69	28	2	1	100
8	自分から進んであいさつができていますか。	62	31	6	1	100
		73	21	4	2	100
9	友達と仲よくしていますか。	85	13	2	0	100
		83	15	1	1	100
10	人の嫌がることを言ったりしたりしていませんか。	68	26	4	2	100
		69	24	5	2	100
11	困ったことがあれば、先生に話していますか。	53	32	10	5	100
		55	31	10	4	100
12	学校であった事を家で話していますか。	55	28	11	6	100
		59	25	12	4	100
13	テレビを見たりゲームをしたりする時間を決めて守っていますか。	53	28	11	8	100
		53	24	12	11	100
14	寝る時刻や起きる時刻を決めて守っていますか。	42	37	11	10	100
		50	29	12	9	100
15	安全に気をつけて登下校できていますか。	89	9	1	1	100
		85	12	2	1	100

*回答数 325名 (統計処理上、1名の回答は「0%」になる場合があります。)

H26年12月実施（教職員）自己評価

京都市立上高野小学校

上段H26.12 下段H26.7

		そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	計
(1) 学校教育目標・学年や学級目標						
1	教育目標や目指す子ども像は、子どもや地域の実態・社会の流れにそくしたもにになっている。	77	23	0	0	100
		85	15	0	0	100
2	学校目標や学級目標は、学校教育目標や目指す子ども像の実現に向けた課題を具現化したものとなっている。	75	25	0	0	100
		77	23	0	0	100
(2) めざす子ども像・学級経営						
1	学級の子は、学校生活を楽しんでいる。	41	59	0	0	100
		20	80	0	0	100
2	学級の子は、学習内容をよく理解している。	0	94	6	0	100
		0	88	12	0	100
3	学級の子は、授業中しっかり話を聞いている。	6	75	19	0	100
		13	60	27	0	100
4	学級の子は、授業中進んで発表している。	13	81	6	0	100
		17	67	16	0	100
5	学級の子は、分からない時にはよく質問している。	13	63	24	0	100
		14	43	43	0	100
6	学級の子は、学習に必要な物を忘れずに持ってきている。	19	50	25	6	100
		20	80	0	0	100
7	学級の子は、宿題などの家庭学習をしている。	31	63	0	6	100
		31	56	13	0	100
8	学級の子は、進んで挨拶をしている。	18	59	23	0	100
		40	47	13	0	100
9	学級の子は、友達と仲よくしている。	38	62	0	0	100
		29	71	0	0	100
10	学級の子は、学校や学級の約束を守れている。	6	77	17	0	100
		15	75	10	0	100
11	学級の子は、困ったことがあれば、担任に相談している。	7	93	0	0	100
		19	75	6	0	100
12	子どもたちを育むためには、家庭学習が重要なことを保護者に話している。	47	53	0	0	100
		36	59	5	0	100
(3) 教育課程						
1	年間計画に沿って教育活動を進めている。	63	31	6	0	100
		54	46	0	0	100
(4) 教科指導						
1	一人一人の子どもの持つ個性や可能性を伸ばす学習を展開している。	25	69	6	0	100
		44	56	0	0	100
2	特別に配慮を要する子どもについて焦点化をはかり取り組んでいる。	44	56	0	0	100
		42	58	0	0	100
3	教科の指導が、指導と評価の一体化したものになっている。	31	63	6	0	100
		29	62	9	0	100
4	子どもたちが自ら進んで意欲的に学習し、充実感を味わっている。	25	69	6	0	100
		17	74	9	0	100
(5) 道徳教育						
1	年間指導計画に基づき、資料の精選や展開を工夫した道徳の授業を行っている。	25	69	6	0	100
		17	66	17	0	100

(6)総合的な学習の時間						
1	子どもの興味・関心・ねがいを生かし、体験活動を重視した学習活動ができています。	44	50	6	0	100
		38	62	0	0	100
2	一人一人の子どもが課題を持ち、意欲的に問題解決を図る学習となっている。	38	56	6	0	100
		33	67	0	0	100
(7)特別活動						
1	子どもたちは体験的な活動を楽しみ、協力することの大切さを学び、進んで取り組んでいる。	38	62	0	0	100
		50	50	0	0	100
(8)生徒指導						
1	子ども一人一人をしっかりと理解し、個に応じた指導が出来ている。	38	62	0	0	100
		40	60	0	0	100
2	いじめや仲間はずれのない学級作りを重点にした取組をしている。	56	44	0	0	100
		68	32	0	0	100
3	問題行動の背景を十分把握し、家庭との連携を図ると共に、校内協力体制で取り組んでいる。	44	56	0	0	100
		68	32	0	0	100
(9)人権教育						
1	人権尊重を基本においた教育活動や学級経営ができています。	41	59	0	0	100
		38	62	0	0	100
2	人権問題についての研修が充実し、教職員の人権意識が高まっている。	22	61	13	0	96
		21	79	0	0	100
3	子どもたちに人権を尊重する精神が育ってきている。	0	94	6	0	100
		24	68	8	0	100
(10)健康教育						
1	登下校の安全や災害時の安全に関する指導ができています。	41	59	0	0	100
		52	48	0	0	100
2	安全や衛生に気をつけて学校給食を実施するとともに、食育に取り組んでいる。	44	56	0	0	100
		58	42	0	0	100
3	学年の発達段階に応じた基本的生活習慣の確立のための取組や、保健指導ができています。	38	63	0	0	101
		58	42	0	0	100
(11)環境教育						
1	身近な教材を利用して、環境に関する教育を進めている。	25	63	12	0	100
		28	53	19	0	100
(12)地域ぐるみの学校づくり						
1	地域の人材や地域教材を活用した授業や活動を取り入れている。	47	41	12	0	100
		50	50	0	0	100
2	学校だよりや学級だより、ホームページ、家庭訪問などで、学校や学級の情報を保護者に伝えている。	53	47	0	0	100
		43	57	0	0	100
3	保護者や地域の方と接する機会を持つようにしている。	38	56	6	0	100
		56	44	0	0	100
(13)校内研究・校内研修						
1	研究や研修内容が、教育実践に繋がるものになっている。	35	65	0	0	100
		43	57	0	0	100
(14)施設						
1	学習効果を高めるために、施設や設備が活用しやすいように点検、整備されている。	0	88	12	0	100
		13	84	3	0	100

平成26年度12月 保護者アンケート 重要度と実現度

高 ↑ 実現度 ↓ 低				学校教育目標にそった取組が進んでいると思われませんか。 子どもは、楽しそうに学校に行っていますか。 学校は、子ども一人一人を大切にした授業を行っていると思われませんか。 子どもは、進んで学習に取り組んでいると思われませんか。 子どもは、学習に必要な物を忘れないようにしていますか。 子どもは、学校や学級のきまりを守っていると思われませんか。 子どもは、人の嫌がることを言ったり、したりしていませんか。 子どもは、学校であったことを家で話していますか。 子どもは、家庭で規則正しい生活をしていますか。 子どもの安全への取組(名札着用や登下校の見守りなど)にご協力いただいていますか。 話しやすい教職員ですか。
				家庭で子どもに学習や読書の習慣をつけていますか。 子どもは、自分から進んで挨拶をしていますか。 子どもは、困ったことがあれば、担任に相談していますか。
	低 ← 重要度 → 高			

「重要度」と「実現度」の分析の見方
 質問項目に対して「重要度(大切さ)」と「実現度(満足度)」の二つをお答えいただくのは、質問項目に対して保護者の方が重要であると考えておられるか、そして、その項目が実現出来ているかどうかを知るためのものです。つまり、「重要度」が高くて「実現度」も高い集計結果が出ますと、学校に「魅力」があるということになります。一方「重要度」が高くて「実現度」が低い集計結果が出ますと「課題」があるということになります。